

English Travelを使った授業例(1回50分で1 Unitを学習する場合)

ターゲット	English Travel Textbook 1 p.40-43 Unit 7 “Do you like milk?”	
主な使用教材	English Travel Textbook 1, CD, Workbook 1	
授業の流れ(分)	CD	授業内容, 表現など
あいさつ, 宿題のチェック(5)		T: Hello, everyone. Ss: Hello, Mr [Ms.] ~. T= Teacher Ss = Students 1) 全員で前回の宿題(ワーク)の答え合わせ。 ※隣同士で交換してやってきたかどうか見せ合うと, 毎回やってくるようになる。 2) Let's Challenge!は一人一人確認しながらチェックする。1語でも書いてきたら, Good job!などとほめるようにする。 ※このコーナーは○×ではなく, 自分で表現しようとするモチベーションを育てることが大事。
前回の復習(4)	CD2-01 CD2-02, 03, 04	1) Unit 6のTargetを1~3回口頭で復習する。 2) 続けてUnit 6 Let's Practice A,B,Cの基本本文を口頭で復習する。
確認テスト(6)		1) Unit 6の確認テストを配布し, 2分程度で取り組ませる。 ※授業の前に剥がしてすぐ配れるように準備しておく。 2) 終えたら, 全員で答え合わせ。 ※Unit 6のTargetやLet's Practiceの基本本文の音が十分入っていないようであれば, 先生が問題の英語を読み上げて全員で答える方法で行う。(×が多くついて英語嫌いを作らない配慮が大切)
Unit 7の導入(5)	CD2-10	1) テキストp.40を開き, 「今日はDo you like milk?という文を勉強するよ。Targetの絵を見てどんな内容かイメージしながら聞いてごらん。何が聞こえたか, あとで質問するよ」と声をかけてTargetを1コマずつ再生する。 2) 場面[コマ]ごとにCDを止めながら, 「大樹はジムにどんなことを聞いていたかな?」など, 生徒に問いかけて意味を確認したあと, もう一度(最初から)再生する。これを6コマ目まで繰り返す。
Let's Practice(10)	CD2-11, 12, 13	テキストp.41を開き, Let's Practiceを再生して, 基本本文の練習を行う。 1) T: Do you like milk? Ss: Do you like milk? T: (Yesらしく表情をつけて) Yes, I do. Ss: Yes, I do. T: (Noらしく表情をつけて) No, I don't. Ss: No, I don't. ※「次は先生が1回言ったら, みんなは3回言ってみよう」と声をかけ, 講師の手本1回に対し, 生徒は3回繰り返す。 2) A~C, 一通り練習したあと, もう一度Targetに戻りCDを聞かせ, Let's Practiceと同様に1~6コマ目まで口頭練習をする。
Vocabulary(5)	CD2-14	1) テキストp.42を開き, Vocabularyのイラストを見せながら発音の確認, 練習をする。「イラストを見て, 単語の意味をイメージしながら覚えよう」と励まし, 英語を聞いて日本語ではなくイメージで把握するように促す。 ※動詞はアクションをつけて発音するなど, 動作をしながら覚えさせると効果的。 2) ランダムにイラストを指し, 再度発音を確認する。 ※先生が指した絵を生徒が言う, または先生が言った単語の絵を生徒が指す。
Phonics(4)	CD2-15	テキストp.42 Phonicsを使って英語のつづりと音のルールを確認する。 1) 「赤い文字の音に気をつけてCDを聞いてみよう」と言って再生する。mail, rain, dayまで聞いて一旦止め, aiを指して[eɪ][eɪ][eɪ]を強調, 次にayを指して[eɪ][eɪ][eɪ]を強調。「aiやayのつづりは, 単語の中では[eɪ]と発音するよ。今度は単語のつづりを指しながら言ってみよう」と声をかけ発音とつづりの関係に着目させる。 T: Repeat after me and point the red letters. (赤い文字を指して) Mail. Ss: Mail. (赤い文字を指す) T: Mail. Ss: Mail. ※続けてrain, dayについてもつづりと発音を確認。 2) 同様に2行目(sea, key, teeth), 3行目(pie, tie, lie)もそれぞれ(赤で表示された)つづりと発音を確認する。 ※時間がない場合はPhonicsのコーナーは省略し, 時間の取れる時に扱うとよい。

Let's Listen(7)	CD2-16, 17, 18	テキストp.43を開き、CDを聞かせ、もう一度再生・一時停止をしながら答え合わせまで行う。後半は指示もできるだけ英語で。 T: What did you hear? ... Yes, "Do you see a movie?" (視線とジェスチャーで繰り返しを促す) Ss: "Do you see a movie?"
宿題の指示, しめくり, あいさつ(4)		テキストのTargetの音読練習, ワーク, Readingシート(本文と解答・訳を配布)など。学習効果を高めるため, 家では文字や英文を書くときにも声を出して練習するように指示する。 ※保護者の協力が得られれば, QRコードを使って, 「Targetを○回聞きながら繰り返す」など指示し, 自宅でも英語の音を聞いてインプットにつなげる。 T: What did you learn today? 今日は何を習ったかな? (生徒に実演, 発言を促す。言ったことを自覚させることで忘れにくく, 家庭にも伝わりやすい) T: That's all for today. See you next time. Goodbye. Ss: Goodbye, Mr. [Ms.] ~.

※Readingシートについて

- Unitに対応した英語の読み物で, 無料でダウンロードできます。(ダウンロード方法はテキストp.3参照)
- 絵を見てストーリーをイメージしながら聞きます。聞いてわかる語や英文を指しながら聞くことで「読み」につなげます。
- 生徒の習熟度に応じて, プラスアルファの課題として利用し, チャレンジ的なモチベーションにつなげることができます。